

令和2年 団体交流戦 勝ち上がり校トーナメント

日時会場 令和2年8月22日(土) 東淀川体育館
令和2年8月23日(日) 千島体育館

種目 男女団体戦(2複3単)

※高体連の大会と同じ形式です。

参加資格 各地域大会勝ち上がり校:参加校数よりドント式で各地域からの勝ち上がり校数を計算
北摂地区(男子5 女子4) 北河内地区(男子2 女子2) 大阪市内(男子4 女子5)
旧3学区(男子3 女子3) 旧4学区(男子2 女子2)

参加申込 各地域担当者から勝ち上がり大会運営委員会へチームメンバーも含めて勝ち上がり校が連絡されます。
メンバー変更については、当日の朝にお願いします。
(メンバー変更用紙は府大会のメンバー変更用紙を代用していただいて構いません。)

競技方法 トーナメント 正式ゲーム(21点3ゲーム)

主催 令和2年 バドミントン団体戦交流戦実行委員会
(事務局 大阪市立南高校内に置く。)

協賛 大阪高体連バドミントン専門部

運営詳細

- ・同じ区内の学校が1回戦で対戦しないように考慮し、フリー抽選でドローを決めるものとする。
抽選については、後日連絡させていただきます。
- ・試合については、試合時間短縮のため2コート以上で試合を行う。
(各チームメンバーの7人以外の4名の審判補助員の協力をできる限りお願いします。)
- ・別に示すガイドラインに沿って運営を行う。

留意事項

- ・顧問の先生は付き添いをお願いします。
- ・出場選手と審判補助員など当日の体育館入場全員の健康観察表の提出を行っていただきます。
(行動記録は提出する必要はありませんが、各校での保管をお願いします)
- ・団体メンバーも含めた人数で、22日は20名、23日は30名までの学校毎の入場を認めます。ただし、学校毎の入場者リストを作成していただきます。事後に行動確認が可能な方に限ります。(団体メンバーと審判補助員以外は生徒・保護者も可)
- ・参加校において、新型コロナウイルス発生に伴い学校が休業になった場合は、当該学校は棄権とする。
- ・新型コロナウイルスの感染状況により、体育館が使用不可となるなどの事態が起こったときは中止となる可能性があります。
- ・**会場で食事を取ることはできません。体育館外で食事を取るようになります。**可能であればパンやおにぎりなどではなく、ゼリー飲料のようなエネルギー補給のための機能性食品を推奨します。
- ・館内ではマスク着用をお願いします。

別紙 大会運営に関わるガイドライン

【参加者、および運営者が遵守すべき事項】

(1) 会場出入口及び施設利用等

- ① 発熱者(37.5℃以上)の入場を禁止する。(観覧者も含む)
- ② 開場時に人数を区切って入場する
タイムテーブルに記載されている時間帯の1時間前から当該校の選手・顧問のみ入場できる。入場の際は入口受付の役員の指示に従う。(応援生徒と保護者の入場は運営側の指示に従う)
- ③ 体育館入退館時に必ず手指のアルコール消毒を行う。
- ④ 外履きは各自ビニール袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- ⑤ 更衣室では、着替えのみとし、シャワー・ロッカーは使用しない。更衣室は、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。
- ⑥ ゴミは各自が持ち帰り、自宅で処分する。

(2) 競技会場(競技スペース)及び競技関係用具類等

- ① フロアの入退場時に必ず手指のアルコール消毒を行う。
- ② 遮光性に
- ③ 配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ④ 換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ⑤ コートサイドに選手が各自のバッグを持参し、飲み物も各自バッグに収容する。
- ⑥ コーチ席は設ける。換気時に消毒を行う。
- ⑦ フロアに汗拭き用のモップを常備しておく。モップについては、換気時に消毒を行う。
- ⑧ 線審は、試合終了後に線審席を消毒する。
- ⑨ 得点板を使用し、換気時に消毒を行う。
- ⑩ ボールペンや審判用紙のボードは、こまめに消毒する。
- ⑪ マイクを使用の際は、マスク着用を必須とする。

(3) 競技関係者及び競技中の確認事項

- ① 主審、線審は、マスクを着用する。(水分補給に留意する。)
- ② 主審・線審は途中で交代しない。
- ③ コートへの入退場は、速やかにコートに集合する。移動の際はソーシャルディスタンスを確保する。
- ④ 選手同士や審判との握手は行わない。
- ⑤ トスは2m以上離れて行う。
- ⑥ シャトルの交換は選手が行う。各コートにシャトルの入った筒を配布する。
使用済みのシャトルは、指定された箱 or カゴに入れる。
- ⑦ 役員が審判に確認し、勝者サイン欄に勝者確認の記載を行う。
- ⑧ 審判は、敗者審判とする。敗者は審判の試合が終わったら、速やかに退場し帰宅する。

- ⑨ ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑩ 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する。
- ⑪ 汗を手で拭かない。
- ⑫ 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑬ シューズの裏を手で拭かない。
- ⑭ 意識的に試合中の声出しはしない。
- ⑮ プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わない。
- ⑯ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- ⑰ 応援は、声援を不可とし拍手に限定し、指定した席で行う。
席を移動しての応援や手すりからの応援はしない。
- ⑱ 観戦の際には、待機中の選手もマスクの着用を義務づける。
- ⑲ 会場内での諸注意等を事前周知する。
- ⑳ フロアに降りられるのは当該チームの選手、線審要員、顧問、コーチのみとする。
- ㉑ 学校体育館では、観客席がないので上記以外の選手は体育館外で待機する。
- ㉒ 飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
また、可能な限り屋外で行うこと。(会場により屋外禁止の場合もある)

【大会参加者に関する留意事項】

- (1) 各会場受付時に、学校単位で当日の出場選手、付き添いの顧問、関係者の健康チェック票一覧を受付に提出する。過去2週間以内に以下に該当する場合は自主的に休ませてください。
 - ・くしゃみ、咳、喉の痛み、微熱以上の発熱の症状
 - ・倦怠感や息苦しさがある ・嗅覚や味覚の異常がある
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合
- (2) 学校単位で、各日・会場ごとに参加者名簿と一日の行動記録を作成しておき、1カ月は保管する。
大会主催者への提出の必要はありませんが、大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染者が出た場合に、保健所や医療機関に提出することや、感染経路を辿るために必要です。
- (3) 大会参加後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(運営責任者)に、速やかに濃厚接触者の有無等を報告する。
- (4) 棄権時は、高体連HP、メール及び電話等で本部に連絡する。
- (5) 以上、感染防止のために主催者が作成した注意事項を遵守し、指示に従うこと。